

「のと里山農業塾」を通じた農泊の取り組み 自然栽培を中心とする地方創生プログラム

～世界農業遺産 能登の里山里海～



はくい（羽咋）の農・食・文化

- ◆自然栽培の聖地化を目指した「はくい」
- ◆2011年6月、日本で初めて世界農業遺産に認定
- ◆美しい風景とたくさんの生きもの。能登の里山での暮らしそのものに魅力
- ◆移住者や新規就農者の増大、市内小中学校・保育園の学校給食での自然栽培食材の利用。
羽咋市とJAはくいの「サステナブル地域共創」モデルへの取組みが続いてきました

はくい式自然栽培

- ◆生物と人の力を活用し、自然と調和する栽培
- ◆農薬、除草剤、肥料を使用しないで、遠い先祖の代から受け継がれてきた自然と農の一体感の中で、農地を守っていきます

TOPICS of HAKUI

羽咋の人口
19,975人

UFOのまち
宇宙科学博物館
コスモアイル

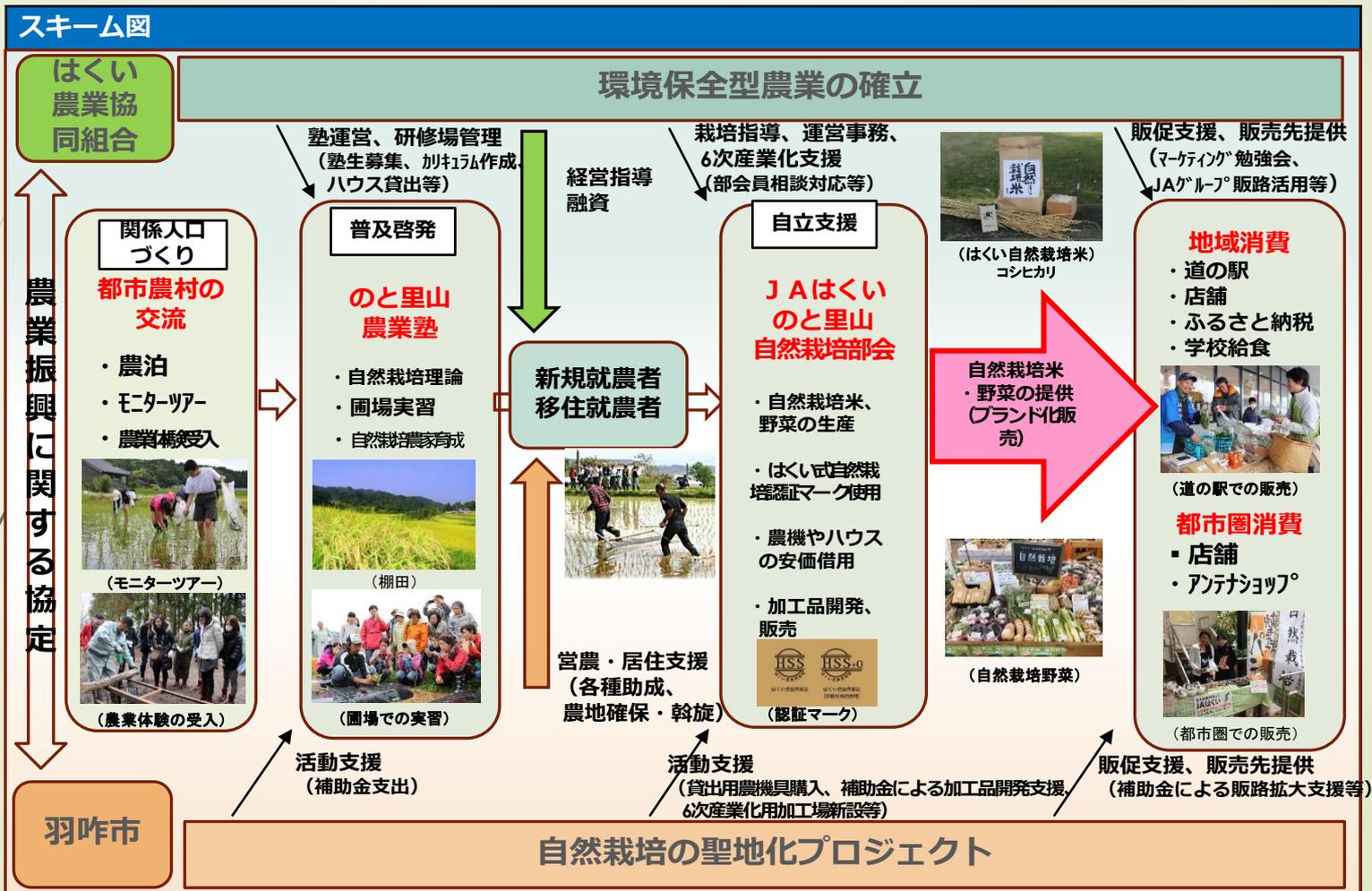
昔昔、
3匹のイヌが
怪鳥の羽を
食い破り
「羽を喰う」
→「羽咋」

のとしし大作戦
イノシシの肉を
地域資源として
有効活用

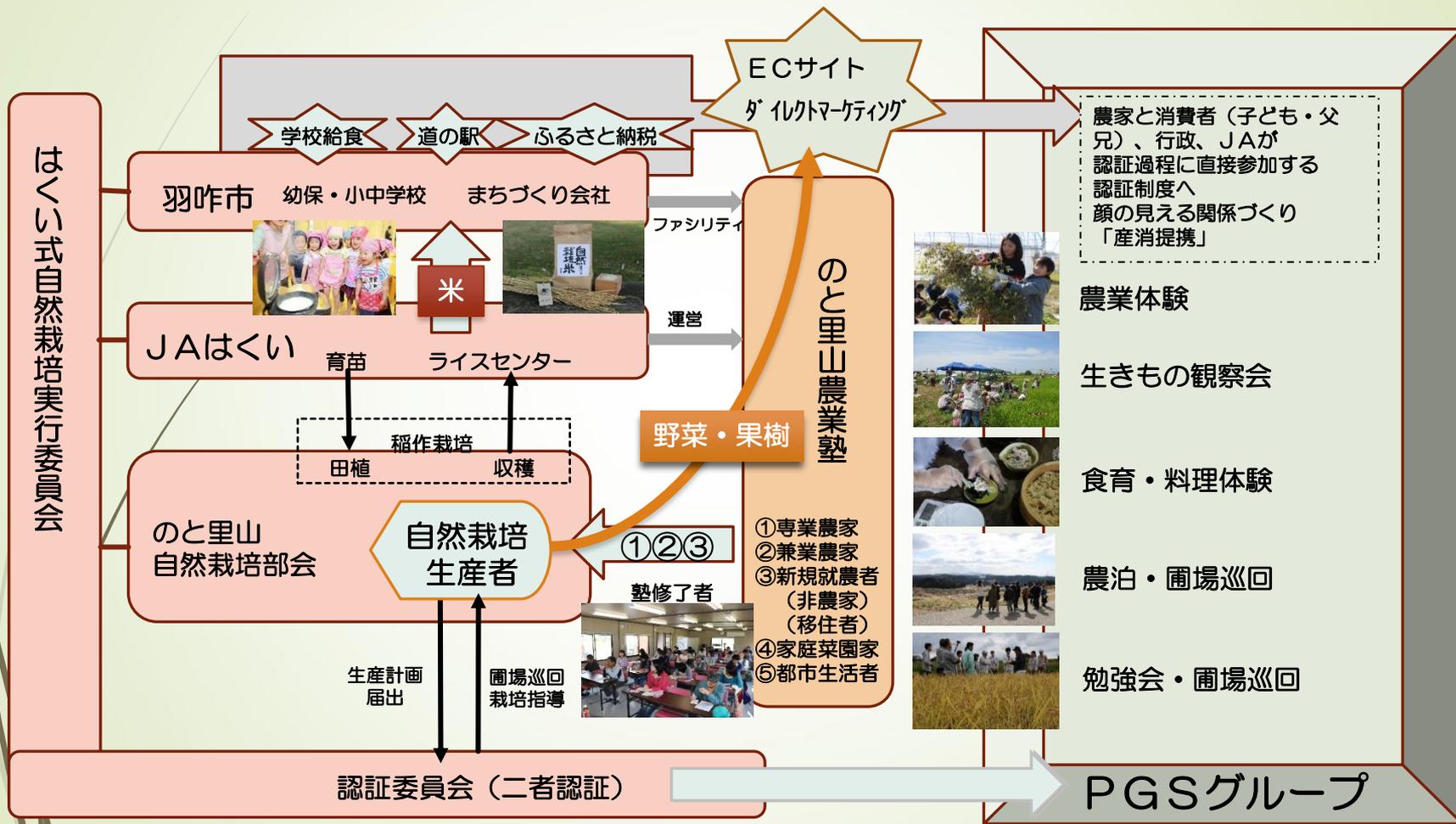
世界農業遺産 「のと里山里海」

- ◆里山とは、長い間、人が農業・林業を続けながら暮らしてきたところ
 - ・ 田んぼや畑
 - ・ 小川や水路、ため池
 - ・ 雑木林や森や林や竹林、草地 が広がる地域
- ◆里海とは、人が海からたくさんの恵みを上手にもらいながら暮らしている地域

はくいの自然栽培の特徴を活かした地域の枠組み

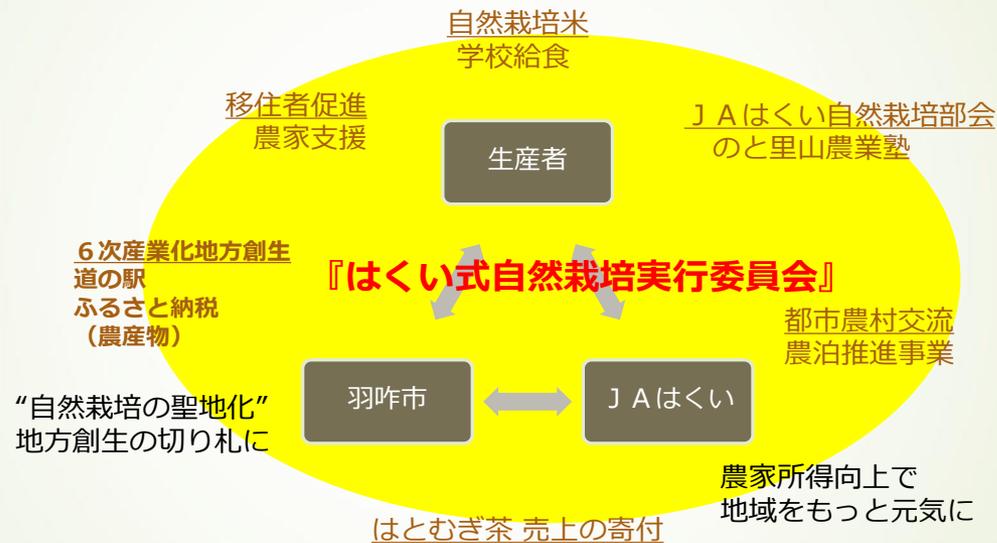


はくいの自然栽培の特徴を活かした地域の枠組み



『はくい式自然栽培実行委員会』は SDG s 地域のチャレンジそのもの

未来の子どもたちに豊かな食と環境をつないでいく



◇SDG s (持続可能な開発目標) とは

住民、事業者、行政職員など、地域内外の様々なステークホルダーが自分の立場・領域を超えて、ともに幸せな地域の未来の姿を描き、その実現へ向けて、みんなで協働して取り組むチャレンジ

『実践 地方創生×SDG s
持続可能な地域のつくり方』
笈 裕介 著 英治出版(株)

一つ星店 地産地消充実

羽咋の「夢喰庵」4月の移転改装契機に



自然栽培普及の一助に

羽咋市農協の「フレンドリーストア」が、4月に移転改装し、地産地消の推進に努める。移転先は、市街地の中心部にあり、交通の便が良く、多くの市民が利用しやすい環境を整えた。また、自然栽培の産品を中心に、地元産品の取り扱いを増やしていく方針だ。

「フレンドリーストア」は、羽咋市農協が運営する地元産品の販売店。4月に市街地の中心部に移転改装し、より多くの市民に地元産品を届けることを目指している。移転先は、市街地の中心部にあり、交通の便が良く、多くの市民が利用しやすい環境を整えた。また、自然栽培の産品を中心に、地元産品の取り扱いを増やしていく方針だ。

羽咋に先端試験農場
 会田産業 IOT活用のハウス
 会田産業が、羽咋市に先端試験農場を開設し、IoTを活用した農業の推進に努める。試験農場は、最新の農業機械やIoT機器を導入し、効率的な農業の実現を目指す。また、地元産品の販売も行う予定だ。

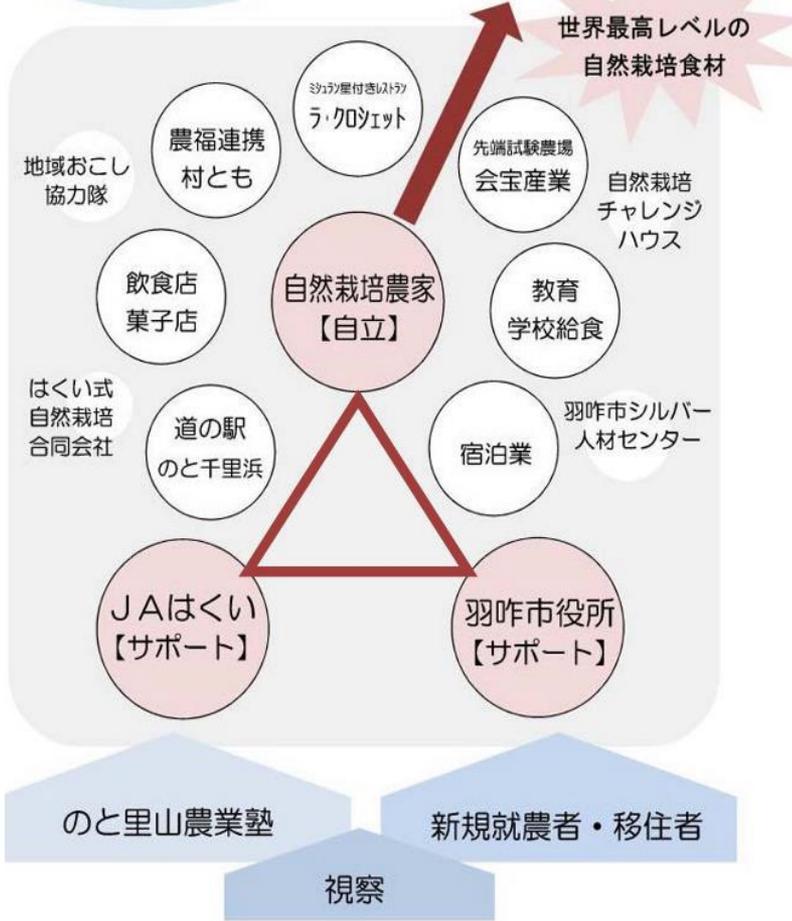


自然栽培米「おいしく」
 羽咋で一斉給食
 羽咋市立小中学校で、自然栽培米を一斉給食として提供される。これは、自然栽培の普及と地産地消の推進の一環として行われる。子どもたちも自然栽培の味を体験できるという。

「おいしく」自然栽培米は、地元産の自然栽培米を使用している。味も香りも良く、子どもたちも大好評だ。また、環境にも優しい自然栽培のメリットも大きい。



サポーター



自然栽培 羽咋に根付け
 聖地化へ「収量、販売力向上へ努力」
 新設農業者協会が、自然栽培の普及に努める。収量と販売力の向上を目指し、様々な取り組みを行っている。また、地元産品の販売も積極的に行っている。

自然栽培 移住者4倍に
 羽咋で今年度20人
 東京から初の単身女性「水野さんも挑戦」
 自然栽培の魅力を体験し、移住を決めた人が増加している。今年度は20人が移住したと発表された。また、東京から初の単身女性「水野さん」も挑戦している。

農福連携で自然栽培
 まず草刈りでスタート
 農福連携の推進に努める。自然栽培の普及を目指し、草刈りなどの作業を通じて、農業者と福祉施設との連携を深めている。

自然栽培 役割を具体化
 羽咋市、J.A.生産者が調印
 農業者の6次産業化に関する基本合意書調印式
 羽咋市とJAの生産者が、自然栽培の役割を具体化するための基本合意書に調印した。これは、農業者の6次産業化を推進するための重要な一歩である。

JAが行政と連携 自然栽培農家をバックアップ

2015年11月2日 農業振興に関する協定書

1. 農産物等の販売支援
道の駅、学校給食、イベント等での利用
集出荷場、加工場プレハブの建設、加工機械の導入
2. 栽培支援
自然栽培作付補助28円/m²、農機具レンタル

2016年8月25日 農業の6次産業化に関する基本合意書

学校給食

2016年11月29日から本格実施

小学校6校、中学校2校、

幼稚園保育所10施設

合計 約1,500人の子どもたちへ

年間 約1.5トンの自然栽培米
を提供



はくいの自然栽培の特徴を活かした地域の枠組み

- ・「自然栽培」に固執しすぎるあまり、地域ブランド化に必要な地域消費者からの支持が受けにくくなっており、持続的な販売基盤が確立できていない。
- ・満足度の低い移住者がいる。
住める賃貸空き家が少ない。
- ・農家の自立と市・JAのサポートとのバランスの取り方が難しい。
- ・生産ロット、品質に課題あり。

FARM to TABLE ~新聞記事~

(13) 北陸 **アイド** 2018年(平成30年)8月15日(水曜日)

北陸近畿

情報は大阪支所から
JA中央会、JAへ
大阪支所
〒530-0047 大阪市
北区西天満1-2-5
TEL 06(6314)0025
FAX 06(6367)9562

JA富山中央会
TEL 076(445)2011
JA石川県中央会
TEL 076(240)5230
JA福井県中央会
TEL 0776(27)8218

今日の天気

☁のり 降水確率(%)
☁瞬今 午前午後夜間

富山	山
雲	0 20 30
雲	36度 26度
雲	0 20 30
雲	34度 23度
雲	0 20 30

パリの三つ星シェフ 羽咋の自然栽培評価

石川

【石川・はくい】「ミシンの指3日の日程で県内にユランガイドや三つ星を獲得したパリの有名シェフトラン・コトランスのオーナーシェフ、パスカル・バルボ氏が10日、自然栽培に取り組むJAの畑を視察した。

バルボ氏は、石川県食品協会の招きで9日から



自然栽培の玄米を使って巻き寿司を作るバルボ氏

「JA職員や生協からと懇話した。

バルボ氏は、野菜の栽培方法や食材の味を確かめ、「高い意識を持って農業に取り組んでいて素晴らしい。野菜や米の味もとてもよかった」と評価した。市内のフランス料理店「ラ・クロシェット」も訪れた。

JAでは、世界的に知名度のあるバルボ氏に羽咋の自然栽培や食材を知ってもらい、その魅力が世界に発信されることを期待する。栗木政明販売推進課長は「評価してもらえて、生産者の意欲も高まると思う」と語った。

欧米が注目「はくい式」

JAの自然栽培 視察続々



一行はスウェーデンの農業新聞社「遊歩」の記者らと訪れ、山形県山形市にあるJAの自然栽培の圃場を視察した。JAのはくい式自然栽培が海外から熱い視線を浴びている。特に欧米からの関心が相次いでおり、5日付の農業新聞「遊歩」でも、自然栽培のノウハウを学んだ。農業や肥料を使わない先進的な取り組みに目を惹いたスウェーデンからは「パーフェクト」との声も上がり、JAのはくい式を越えて高まる評価に手応えを感じ取っている。

一行はスウェーデンの農業新聞社「遊歩」の記者らと訪れ、山形県山形市にあるJAの自然栽培の圃場を視察した。JAのはくい式自然栽培が海外から熱い視線を浴びている。特に欧米からの関心が相次いでおり、5日付の農業新聞「遊歩」でも、自然栽培のノウハウを学んだ。農業や肥料を使わない先進的な取り組みに目を惹いたスウェーデンからは「パーフェクト」との声も上がり、JAのはくい式を越えて高まる評価に手応えを感じ取っている。

スウェーデンの首都ヘルシンキから北西30キロの街シルドで農業を営む「パーフェクト」の農家個人だけでなく、市やJAが共通の目標を持って取り組んでいるのが、JAのはくい式と評価された。JAのはくい式は「自然栽培のシステム」として、化学肥料を使わずに育てているのは素晴らしいと評価した。JAのはくい式自然栽培には、これまで「トリア」食料店の学生や、料理店「ミシンの指」で三つ星を獲得したパリの有名シェフトラン・コトランスも視察に訪れている。

2019.11.06 北陸新聞

農泊によるインバウンドの受入

- ◆視察時期 2019年11月5日(火)
- ◆視察団体名 Agrar Reisen
※農業雑誌出版社agrarreisen社(スイス)
取扱の農業視察を目的とした団体。
- ◆参加者 スイスにて農業を営む方々
- ◆視察目的
特定の品種・品目にこだわらず、広く日本の農業の現場を見学し、農業の実情等について話を聴くことで見聞を広める。
- ◆人数 15名+1ガイド
- ◆視察先
砂山ブドウ園(自然栽培・種ありブドウ)
JAはくいのと里山農業塾
(自然栽培についての説明・研修圃場見学)



いい道の駅 「のと千里浜」



InstaMag



ラ・クロシェット



